

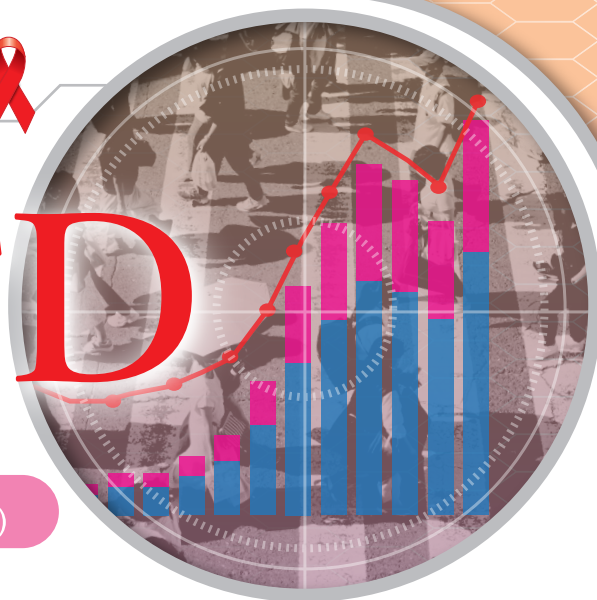


今回のテーマ

HIVとSTD

ヒト免疫不全ウイルス

性感染症



日時

2024年12月20日(金)

<時間> 18:00 ~ 19:00

性感染症の増加、過去最多の数値！

ここ最近ニュースなどでも梅毒の問題については取り上げられることも増えており、実際に2021年以降国内での梅毒発生件数は大幅に増加しており、2023年の梅毒感染者数は1万4906人と、過去最多の数値となりました。また梅毒のみならず、淋病、クラミジアなどの性感染症の増加も指摘されています。

また、2023年度のエイズ動向委員会におけるHIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告件数は960件で7年ぶりに前年度より増加に転じています。

HIV感染も性感染症の1つであり、HIVとその他のSTDとは密接な関係があり、STDを合併しているとHIVに感染しやすく、HIVに感染していると他のSTDを合併しやすくなります。

そこで今回は、HIVとSTDをテーマとし、福岡県内の動向とともに長年STD診療に携わっていらっしゃる鷺山先生にご講演頂きます。

会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

会場

国立病院機構九州医療センター4階 研修室
Microsoft Teamsでのハイブリッド研修

対象

保健・医療・福祉・教育
行政・NGO関係の方々

◎プログラム

<講演時間> 18:00~19:00

18:00 ~ 開会の挨拶 オリエンテーション

18:05 ~ **「HIV感染症の最新情報」**

国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
医長 高濱宗一郎

18:15 ~ **「福岡県の現状、HIVをはじめ**

梅毒などSTD発生状況と課題について」
福岡県保健医療介護部がん感染症疾病対策課
感染症対策係 中山 志幸

18:25 ~ **「HIVとSTD」**

医療法人ビジョナリーさぎやま泌尿器科クリニック
理事長院長 鷺山和幸

18:55 ~ 質疑応答

19:00 ~ 閉会の挨拶

国立病院機構九州医療センター免疫感染症内科
医長 高濱宗一郎

50th Symposium

福岡 HIV ネットワークとは？

HIV感染者・エイズ患者のケア向上のために、保健、医療、福祉、教育等の関係者有志により設立された任意団体です。地域における専門職種間の連携、ネットワーク、情報交換などを目的として、年に1回福岡県内4地域を輪番制で巡回してシンポジウムを開催しています。会員の方には毎回会議のお知らせを配布致します。会員の方々でご自分達のHIVに関する研究会、性教育、NGO活動、国際協力で、他の会員や参加者にも提供したい情報がありましたら、事前に事務局までご連絡下さい。

■利用 web システム

Microsoft Teams

■必要機材等

パソコン・タブレット・スマートフォン等インターネットに接続出来る端末、ネット環境

■研修参加方法

- ①別紙に記載されておりますQRコードよりお申込み頂くか、用紙に必要事項をご記入の上、12月13日(金)までにFAXまたはメールにてご送付下さい。
- ②参加申込書にご記載頂いたメールアドレス宛に、【招待メール】をご送付します。18時よりオンライン講演を開始しますので、当日は招待メールに記載されているURLを開き、【ミーティングに参加する】をクリックして下さい。

参加方法

